

報道関係各位

2023年12月19日
株式会社 eve autonomy

【eve autonomy イベントレポート】 2023 国際ロボット展で初の動展示！ ヤマハ発動機との本格コラボにより 4,000 人以上の観客を動員 ～労働不足、2024 年問題の一つの対策として 屋内から屋外の一気通貫自動化を動展示で提案～

株式会社 eve autonomy（イブ・オートノミー、静岡県袋井市、代表取締役：星野 亮介、以下「eve autonomy」）は、2023年11月29日（水）から12月2日（土）まで、東京ビッグサイトで開催された世界最大級のロボット・トレードショー「2023 国際ロボット展（iREX2023）」のヤマハ発動機ブース内にて出展しました。

当日は、「運ぶ」の未来図として“ μ to km”（ミクロンからキロメートルまで）のテーマのもと、屋内から屋外の搬送まで自動化できることを、自動搬送車両「eve auto[®]」（イブ・オート）とヤマハ発動機の開発する工場内自動搬送ロボットと連携した実機による搬送デモンストレーションをブースにご来場いただいた 4,000 人以上の方に披露しました。本レポートでは各コンテンツの見どころと反響を公開します。

- 「eve auto[®]」 <https://tinyurl.com/389uk36d>



2023 国際ロボット展での展示ブーステーマ“ μ to km”（ミクロンからキロメートルまで）



ヤマハ発動機ブース設営風景



リアル会場にて星野 CEO と車両

イベント開催概要

【リアル会場】

展示会：2023 国際ロボット展 (iREX2023)
会 場：東京ビックサイト
会 期：2023年11月29日(水)～12月2日(土)
ブース：東4ホール E4-18 ヤマハ発動機ブース

【オンライン会場】

会 場：iREX ONLINE
会 期：2023年11月22日(水)～12月15日(金)

【ウェビナー開催概要】

開催時刻：2023年11月27日(月) 14:30～15:10
タイトル：屋内外対応自動運転サービス「eve auto」のご紹介
配信形式：Zoom

イベントの見どころと反響

【1】 ヤマハ発動機と本格コラボし、常時賑わいを見せたデモショー

今回のリアル展示会場では、eve autonomy として2つの『初』が実現しました。1つは eve auto の動的展示が初めて行われたこと、もう一つはヤマハ発動機の製品と本格的なコラボレーションで展示が企画されたことです。

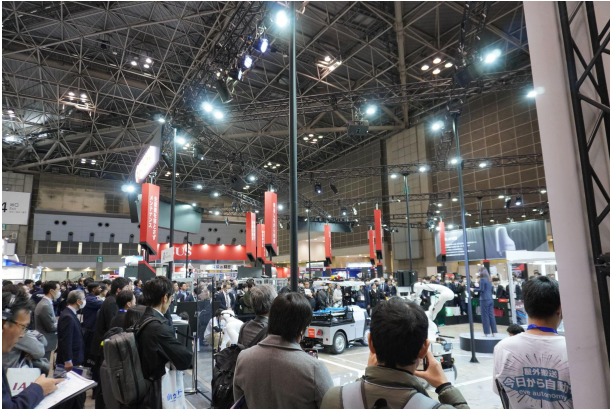
1年をかけて企画とテストを行ってきたこの実機連携は、計20回行われ、屋内から屋外へのスムーズな搬送連携のデモンストレーションを多くの観覧者向けに行うことができました。

今回の動展示の目的としては、ヤマハ発動機の強みである「運ぶ」に対して、屋内から屋外を一気通貫で自動搬送サービス提供ができることを実証することでした。

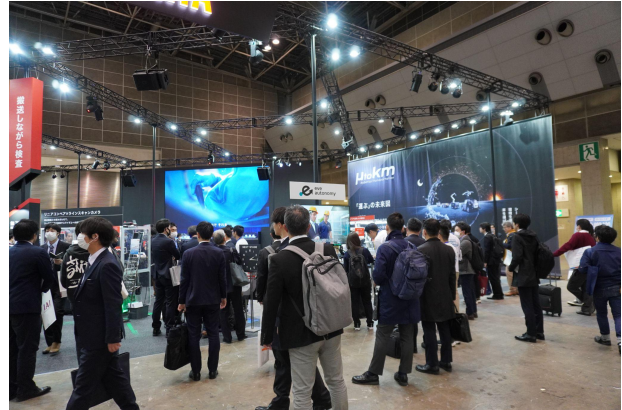
デモンストレーションは、eve auto が屋外から屋内に荷物を搬送し、屋内 AGV と7軸ロボットアームが組み合わさった協働ロボットが間を繋ぎ、ミクロン単位の精度で操作できるリニアコンベアへ受け渡すといった内容です。昨今の労働不足に加え、2024年問題が待ち受けているこの時代に対しても、一つの解決策を表現できたショーだと実感しています。社名、サービスの認知度がまだまだ高くない eve autonomy ですが、会場では多くの方にお声掛けいただき、「初めてサービスを知った」「もっと詳しい話を聞きたい」「私達もこのような問題を抱えているので解決したい」といった反響を得られました。

<動展示の動画>

[【2023 国際ロボット展】屋内から屋外まで一気通貫した搬送自動化\(ヤマハ発動機\)](#)



デモンストレーションの観覧状況



デモ終了後も賑わうブース

動展示に続いて1日2回行われた eve autonomy の社員の登壇もあり、サービスを多くの方に知ってもらう良い機会となりました。



ヤマハ発動機とティアフォーの合併会社であること、「eve auto」は全てのサービスを含んだ名称であることを語るマーケティングマネージャー 龍



当日注目を集めた「今日から自動化！」Tシャツ

【2】 200名以上の視聴者を集めたウェビナー

オフラインの展示会が開催される前の11月27日に開催された、eve autoのサービスを紹介するウェビナー。プレスリリース一つで当日は200名以上の参加者にご視聴いただき、多くの方に情報をお届けできました。スピーカーは弊社マーケティングマネージャーの龍が務め、40分間で会社とサービスの紹介、導入事例についてお話させていただきました。

講演内では、以下のような内容を分かりやすく説明をいたしました。

- ・ eve autonomy の企業としての成立ち
- ・ eve auto が屋外エリアをカバーする数少ないソリューションであること
- ・ eve auto サービスの内容
- ・ 導入事例
- ・ パートナーシップ強化

ウェビナーで使用された資料はこちらから取得が可能です。

<登壇資料>

PDF：[「eve auto」で工場や物流施設の搬送を無人化！](#)

【3】 リアル会場にて放映された、技術目線で eve auto を語る動画「THE GAME CHANGER」

リアル会場にて、屋内外自動搬送 EV「eve auto」開発者、有馬央貴が語るドキュメンタリームービー「THE GAME CHANGER」が大型ビジョンで繰り返し放映されました。当日ブースに来場して下さった方はもちろん、近くを通りかかるお客様にも一度足を止めて見ていただけるものとなりました。

本動画は、エンジニア目線で車両への想いを詰め込んだ、初めての社内メンバーから発信される動画です。実際に自分の手から生み出された製品だからこそ、細部に渡る熱い想いとストーリーは、eve auto のサービスに深みを持たせてくれる物であり、弊社としても是非一度は目にさせていただきたい内容となっております。

<エンジニア 有馬の動画>

[THE GAME CHANGER : eve auto](#)



お客様の声と今回のイベントを通して

前述の通り、多くの方が eve autonomy を認知されていなかった中で、今回の「2023 国際ロボット展」に参加し、以下のようなお声を多くいただくことができました。

「ヤマハ発動機の製品のひとつだと思った、ティアフォーとの合併会社だと初めて知った」

「本当に無人で走行することができるんだとショーや事例動画を見て実感した」

「屋外で働く従業員を救ってあげられる一つの手段だと思った」

「これまで屋内 AGV はいろいろあったが、屋外搬送を自動化する方法がなかなかなかったので、こう

「いうサービスは非常に興味深い」

「サブスクなら導入のハードルが下がって、試しやすい」

「工事やレイアウト変更で日々搬送経路が変わるから、ルート変更や修正が簡単なのは良い」

今回のイベントはヤマハ発動機が1年間を企画と準備に費やしたほどの大規模なものであり、eve autonomy としても初めての動展示を行うことから、準備に準備を重ねて挑んだ会でもありました。その中で、eve auto は導線が不要でマップデータの登録と自動運転の設定のみで対応ができるため、たった1日で動展示の準備はできてしまいました。また、狭いステージの中でも数センチレベルの停止精度を実現ができ、それらは製品の特徴であり、イベントを準備する私達にも有益でありました。

結果として、今年最も多くの方に eve auto のサービスを知っていただいた良い機会になった、成功した展示会だと感じています。

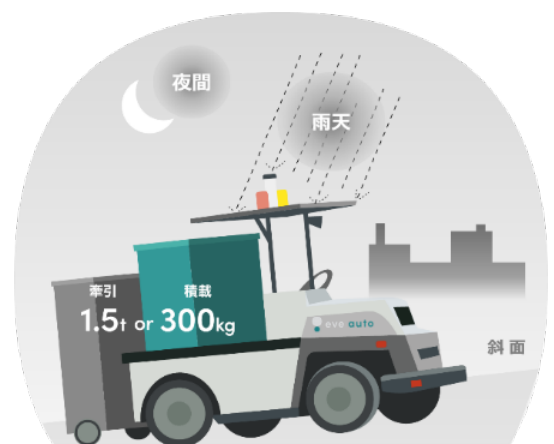
その反面、eve autonomy の認識がされていないだけでなく、「屋外で行われる搬送の無人化、自動化」自体を検討したことがあるか、自動運転技術を搭載した屋外搬送がサービス化されている事自体への認知の弱さがあるのではと痛感したところがありました。

eve autonomy は、「自動化の幕開け」を牽引していく立場として、より一層屋外の自動化の普及活動を強化していくことに尽力してまいります。

屋外自動搬送サービス「eve auto®」について

<https://tinyurl.com/389uk36d>

eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせずに自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されている EV カートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、**雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル 4 での無人搬送運用を実現**しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。



自動運転 EV を活用した屋外対応の自動搬送ソリューション「eve auto®」

【主要スペック】

サービス名／車両	eve auto(イブ・オート)／FG-01
寸法／重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg
最大牽引重量／積載重量	1,500 kg／300kg
駆動方式／バッテリー	DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スペア交換可能）
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度（17%）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12%）積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）
主な管理機能	FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携等を実現する Bluetooth 通信機器

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://tinyurl.com/389uk36d>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://tinyurl.com/5n6vujej>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy 事業開発部

TEL：0538-37-9304

Mail：mk@eveautonomy.com

Web：<https://tinyurl.com/5hf8mjkn>

株式会社 eve autonomy

本社：静岡県袋井市久能 3001-10 代表取締役社長：星野 亮介

HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は、「今日から自動化」をスローガンに、工場や物流施設の主に敷地内での屋外搬送業務を、自動運転技術の活用により無人搬送を実現するサービス「eve auto®」を提供するソリューションプロバイダーです。ヤマハ発動機株式会社と株式会社ティアフォーの技術力を結集し、世界最先端の自動運転技術と長年グローバルで培ってきた品質と信頼を基に、社会課題解決に取り組み、世の中の変化に求められるワークスタイルの実現に貢献してまいります。